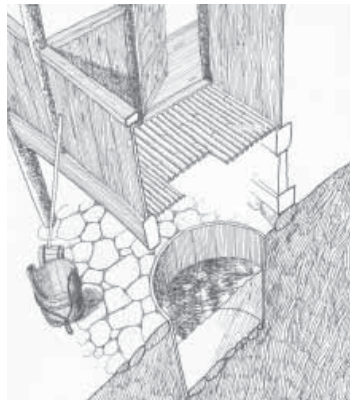
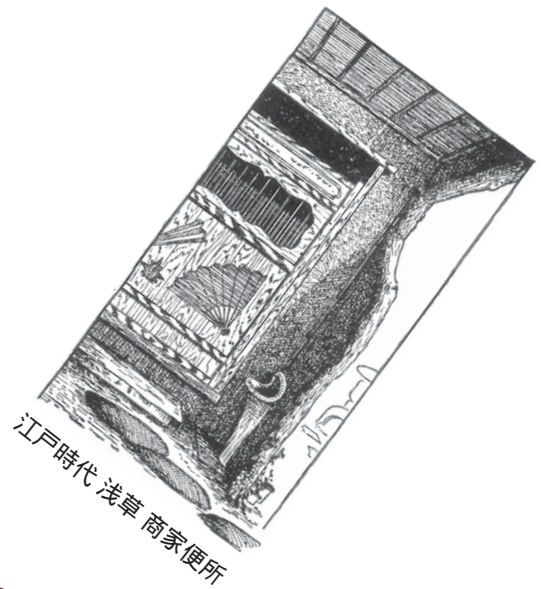


茶室の廁 雪隠



民家の汲み取り便所 (江戸時代)



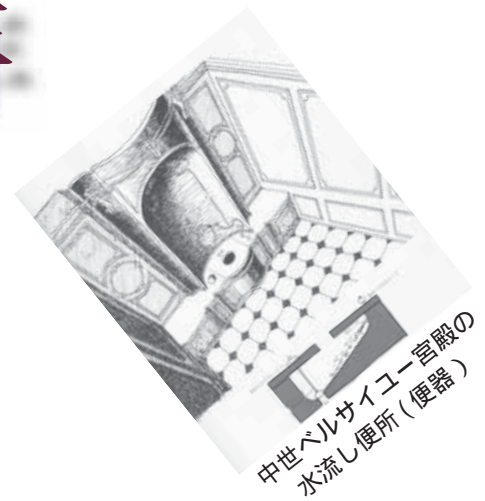
江戸時代 浅草 商家便所

2007年

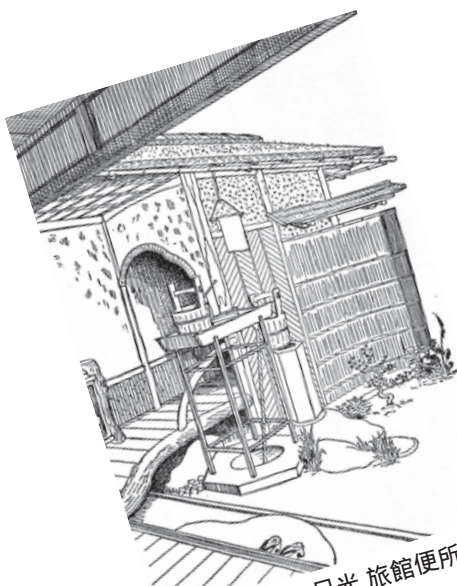
廁曆



18世紀パリ 露地門での市民の排泄風景



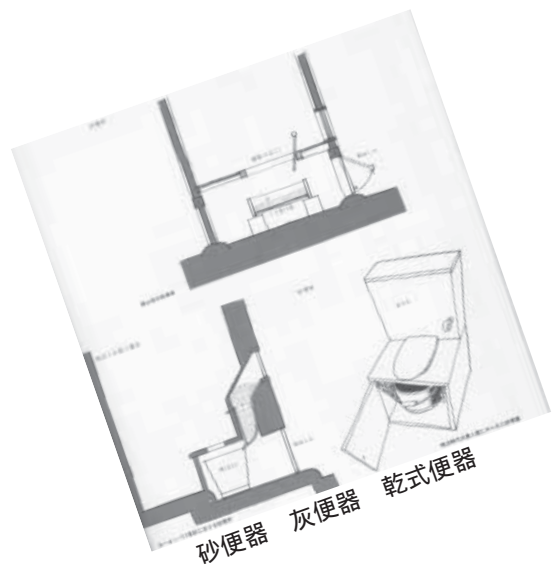
中世ベルサイユ宮殿の
水流し便所 (便器)



江戸時代 日光 旅館便所



18世紀パリ 木陰で排泄をする市民



参考文献

18世紀パリ生活誌
日本のすまい 内と外
すまいの水と火

岩波書店
鹿島出版会
影国社

桂離宮



御厠口 木製の朝顔があり
右側に 御厠

桂離宮は高床式である。朝顔からは下に穴を掘り石を詰め込んで自然吸引式地下浸透方式を採用し、御厠の下には檜の葉を敷き詰めた木箱、砂を入れた木箱などが用意された。桂離宮にはこのほか可動式西洋便器、汲み取り式など異なる形態の厠が5ヶ所ある。



御厠 古書院と同様に黄土地にキラ(雲母)で小桐文の壁、右手には香炉を置いたであろう棚がある。



御手水の間 御厠の前室
蜘蛛手の上に木桶を置く



御殿群鳥瞰図



参考文献

IWANAMI GRAPHICS 桂離宮
京の職人衆が語る桂離宮
図説 厠まんだら

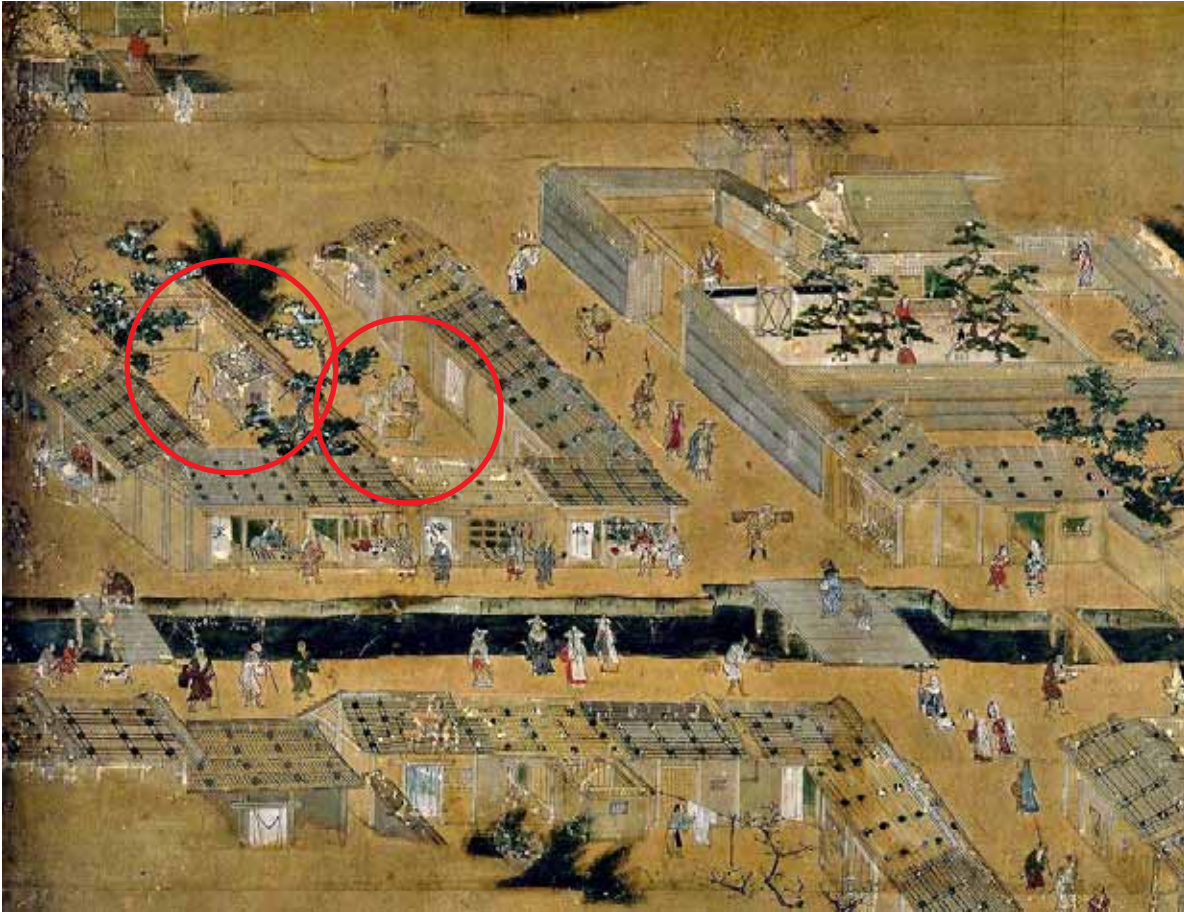
岩波書店
草思社
INAX 出版

2007年

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

洛中洛外図屏風



洛中洛外図屏風左4隻

洛中洛外図屏風左隻(6扇)



京都の賑わいと四季の景観を描いた洛中洛外図屏風のうち、現存最古のもの。国立歴史民俗博物館が所蔵する重要文化財。描かれた景観の年代は、大永5年(1525)から天文5年(1536)ころと

考えられる。京都の正方形コミュニティの内側の共同空間に惣雪隠(厠) 井戸などが描かれており、当時の庶民生活を知る貴重なもの。

参考文献

国立歴史民俗博物館

<http://www.rekihaku.ac.jp/gallery/rakutyuu/index.html>

2007年

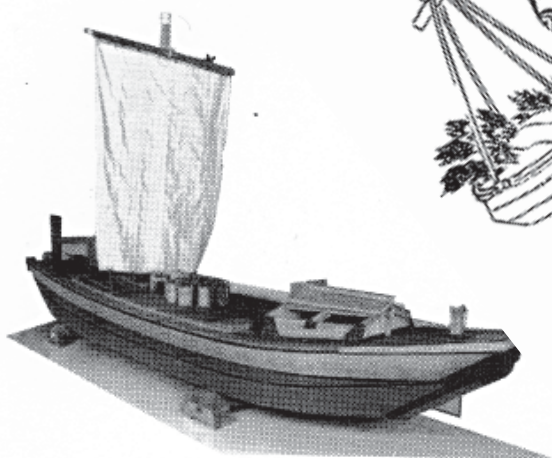
2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

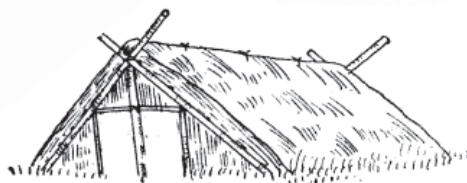
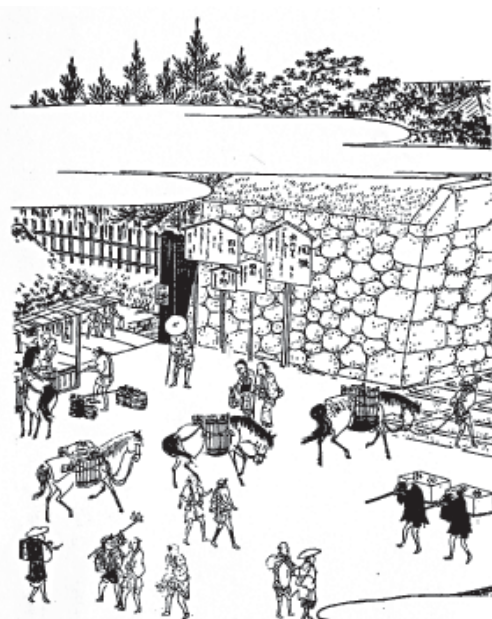
屎尿の扱い

農耕民族としての必然性から屎尿を肥料とすることが古くから成され、屎尿を集めるということから西洋とは異なり厠が一般庶民生活まで作られ、商品として屎尿が扱われ、街が清潔を保ってきた。しかし人口の集中、農業技術の進歩等により商品から廃棄物へと扱われ方が変わり、処理方法が検討されて現在に至る。

江戸時代 農民は野菜と肥え桶を担ぎ市中の厠から屎尿を野菜、米と交換に汲み取らせてもらう。後に金銭で屎尿を購入した。運搬手段も馬、船などを利用。



屎尿を運ぶため槽を作ったため部切船、地名から葛西船などと呼ばれた肥舟



持ち帰り直ぐ使用はせず上のような糞だめにねかせ発酵させ、使用しやすくしてから田畑に施した。

士農工商の時代であっても、屎尿は豊かな食生活をしている階層の屎尿ほど高価であった。

参考文献
トイレ考・屎尿考
図説 厠まんだら
屎尿の民俗学

技報堂出版
INAX 出版
批評社

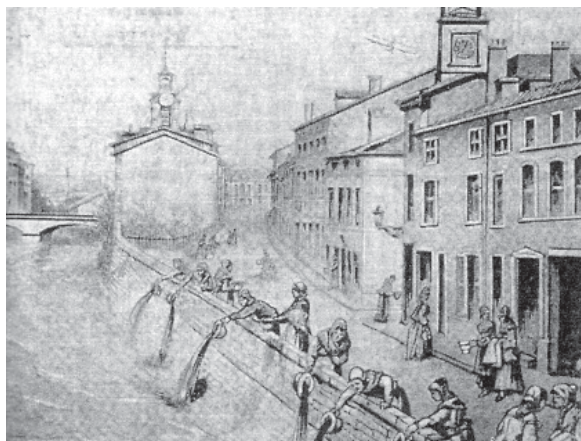
2007年

3 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

屎尿の扱い

古代ローマの水洗式トイレを例外として、ヨーロッパでは日本と異なり屎尿は最初から廃棄物、不潔物として扱われた。屎尿を集める厠という形ではなく、チャンバーポットという尿瓶、そのポットを使用しやすくするための家具が排泄行為に対して用意されてきたが、ポットから排泄物の処理が不衛生極まりなく伝染病の、住環境の悪化を招いた。又、都市が内陸に位置し河川の汚染が環境問題に発展し下水道処理設備の整備が不可欠となった。



チャンバー時代の街路の様子と河川にそそがれるチャンバーの内容物。
当時、パリですら腐った空気の充満した都と言われた。



一般庶民の寝室



貴族の寝室
椅子便器とチャンバーを
収納する装飾された箱



「頭上に注意！」
毎朝、市中を歩くには
傘、帽子、コート、踵
の高い靴が不可欠で
あった。



参考文献
排泄全書 原書房
Temples of Convenience St. Martin's Press
風呂トイレ賛歌 晶文堂
Osterreichisches Freilicht Museum

2007年

4 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

城の厠

スイス Chillon 城

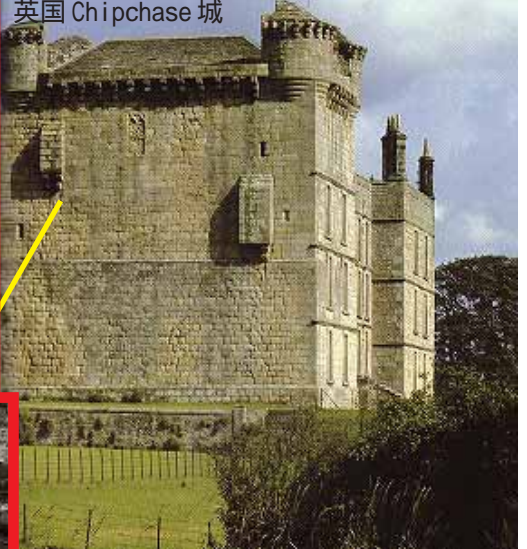


レマン湖

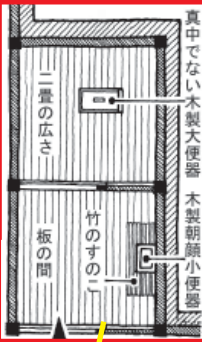
オーストリア Liechtenstein 城



英国 Chipchase 城



落ち行く先は
美しきレマン湖
写真 柳井孝道氏



東西問わず城の壁面に不自然とも思われる出窓に似た構造物に気が付かれたら、それは城の厠である。限られた空間を有効に活用し、不要なものは城に留めないことがもとめられる。排泄物は穴の開いた板から堀へ、空き地へ、湖へと落とされていく。時に、排泄物は糞尿戦術における戦術兵器となることもあった。楠正成の千早城の合戦、近くは成田闘争で敵の戦意を弱める戦果を挙げることもあったという。

熊本城



参考文献

- ヨーロッパ・トイレ博物誌 INAX 出版
- 図説 厠まんだら INAX 出版
- Temples of Convenience St. Martin's Press

2007年

5 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

トイレトペーパー



上 TOTO トイレ川柳ペーパー 500円

下 天体 星ウン解説ペーパー 500円



銀行で借り放題はトイレだけ
病みて知るトイレ一人で行ける幸
音立てぬように頑張るカレの家
格付けはトイレでしますホテル通
ノックして「どうぞ」と言われ逃げてきた
ケイタイで愛を語っているトイレ
間に合った仏はいるが紙がない
おばさんに男子トイレでせかされる
あやまると心に決めて出るトイレ
おトイレで部長と課長にはさまれる
一生で最も世話になる小部屋
トイレから妻のハミング聞こえる日
さあ出産スイートテンよりウオッシュレット
手洗いにうちわ残して父は逝く



2007年

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

上便所



明治村に移築された幸田露伴の旧家
この家には座敷床の間裏に染付け角便器を使用した廁が2ヶ所ある。

過去、上流民家には家人用の下便所に対して、客間の床の間、飾り棚の裏に隣接する上便所(神便所)があり神聖な座敷を使用する神に準じる者が使用する意味合いを持っていた。



紀州徳川家の別邸で現在、横浜三溪園に移築された臨春閣の全景。



右、臨春閣、座敷床の間裏の廁
紋縁付畳が敷かれ黒漆塗蓋付大便器の下には引出しがあり、砂雪隠となっている。



参考文献
日本トイレ博物誌
日本のすまい 内と外

INAX 出版
鹿島出版会

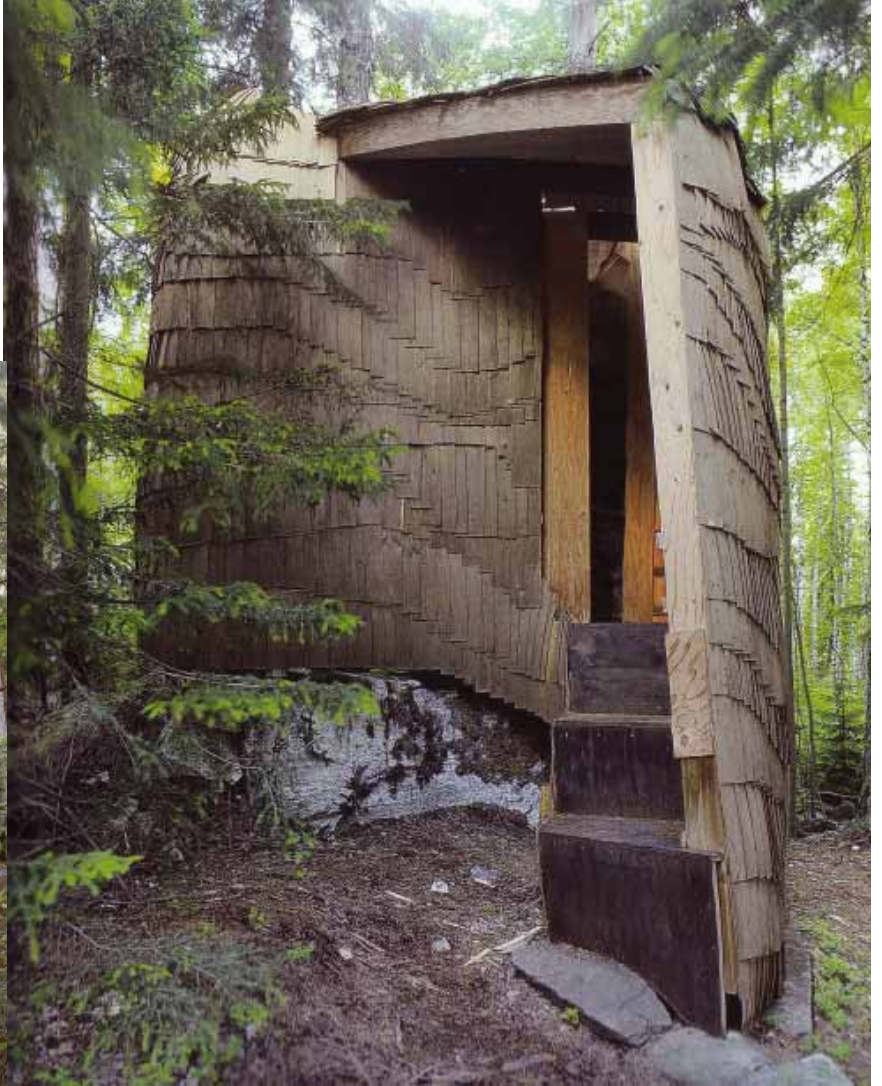
2007年

7 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

森を楽しむ

スウェーデン イエテボリから北へ100Km
ノルウェーとの国境近くのSmolmarkという
町の近郊に周囲の環境との調和を考えた廁
ができています。森の木漏れ日、風の音を大
切に、更に針葉樹の木の香を十分に取り込
むことを考慮したデザイン
で作られています。



参考文献

designing public toilet

PREGEON

2007年

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

街のトイレ



街中のトイレにも国柄、文化の違いを感じる。左は移動式、固定式でも夜行性トラが徘徊する時間のみ街に顔を
出すトイレ。どうも男性用が多く見られるようだ。日本の公衆道徳も満更でもないかを感じる。

参考文献

トイレのひみつ

Flush! Modern Toilet Design

学研

FRANKE

2007年

9 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

大いなる勇氣



2003年スイス バーゼル市芸術祭の期間、目抜き通りに鏡の箱が設置された。これがなんと厠である。芸術家 Monica Bonviciniの製作になる使用には大いなる勇氣のいる厠である。マジックミラーで外からは内は見ることはできないが、美しいステン製の椅子に座って、町並み、人通りを眺めての時間、さぞ落ち着いた時間を過ごせたであろう。



参考文献

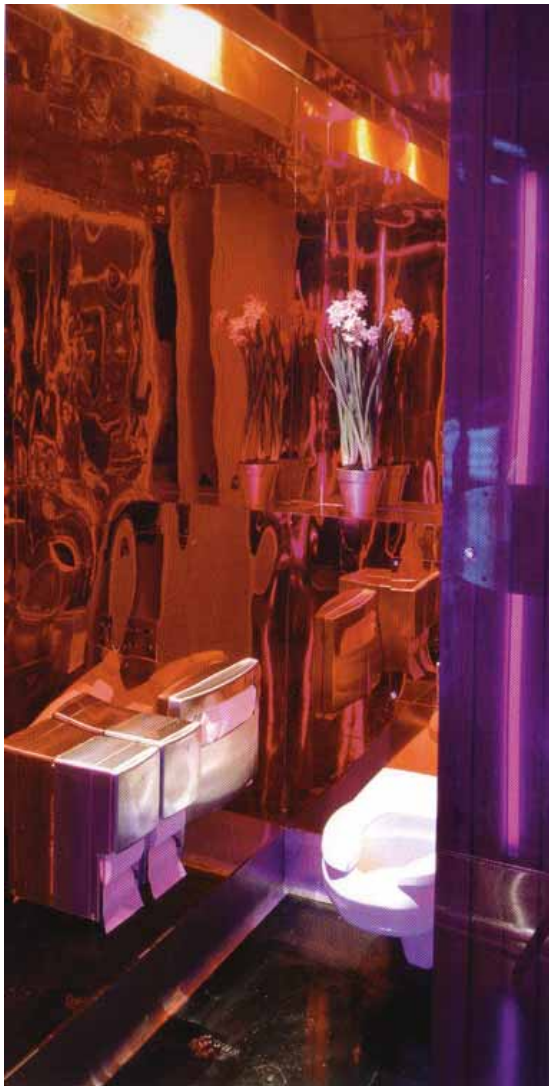
designing public toilet PREGEON
Flush! Modern Toilet Design FRANKE

2007年

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

もっとひかりを



ひかりを利用し

楽しく

心安らぐ

美しい

トイレ



参考文献

Flush! Modern Toilet Design FRANKE

2007年

11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

茶室と厠



京都 不審庵の雪隠

生活一切を茶室で営むことを旨とする茶道においては厠にもその侘びの精神が生かされ砂雪隠といわれる。砂にまぶしての排泄処理である。

砂雪隠は小田原城に籠っていた大綱秀吉のために千利休によって考案されたといわれる。

およそ一坪の場所に穴を掘りその四隅に石を据えて箱型の便器のように作る。下腹(大便の意)雪隠と呼ばれるものもある。

鉄瓶を用意しその水で手を洗い、水は穴に流すようにしてある雪隠もある。

雪隠の語源は古く、中国に厠掃除を熱心にする僧侶のいた寺の名前という。

表千家に大正2年に再建された雪隠、不審庵という。屋根は片流れの柿葺きで内部は一坪大の広さがある。平面全体に砂を厚く敷き詰めその上に役石という役を考えた石を置く戸口の石を踏込石、内部両側の長い石を踏石、前の石を小便返し石、後ろの石を裏返し石という。又、隅に塵穴をあけ、砂搔、塵箆を置いておく。

砂雪隠は今は形式的になり荘雪隠といわれる。実際は下腹雪隠と言われるものが外路地にあることが普通。



灯籠右手が雪隠、左手奥が不審庵

参考文献

図説 厠まんだら
日本トイレ博物誌
すまいの火と水

INAX 出版
INAX 出版
彰国社

2007年

1 2 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					